

DSM、営業利益改善で引き続き堅調なキャッシュ創出を報告

ハイライト

- 継続事業による2009年第2四半期の営業利益は第1四半期を明らかに上回る
- 第2四半期の営業利益総額は7,900万ユーロで、昨年の記録的水準から大きく下降
- ニュートリション部門は引き続き堅調
- マテリアルサイエンス部門は第1四半期の損失から回復
- 事業によるキャッシュフローは再び非常に強固に(2億6,700万ユーロ)、2008年第2四半期を44%上回る
- 中間配当は普通株あたり0.40ユーロを維持
- 棚卸資産評価減と顧客の在庫調整の初期の影響は現在ほぼ終了したと予測されるものの、見通しは依然不透明

今回の結果について、DSM 取締役会長のフェイク・シーベスマ(Feike Sijbesma)は次のように述べています。「早期の積極的な施策によるコスト削減、キャッシュへの焦点、運転資金の厳格な管理、さらにライフサイエンス事業が現在も回復しつつあること、これらのすべてが結果として、2009年上半期終了時点においてDSMの良好な経営状態としました」

「多くのエンド市場で需要が改善する兆しはほとんど見られませんが、棚卸資産評価減と顧客の在庫調整がほぼ終了したことを受けたマテリアルサイエンス事業の牽引により、第2四半期の収益は第1四半期に比べて急速に増加しました」

現在の厳しい時期においても、DSMは健全な経営基盤を維持しています。これは、7月に発表した2つの非中核部門の売却や顧客への長期戦略的なコミットメント、イノベーションと持続可能性、および好景気下にある中国に焦点を絞ったことによります。健全なバランスシートと力強いキャッシュフローを背景に、当社は今後生じる好機を有効に活用する上で、有利な立場にいます」

第2四半期			単位:百万ユーロ	上半期		
2009	2008	+/-		2009	2008	+/-
継続事業:						
1,918	2,406	-20%	売上高	3,707	4,709	-21%
167	346	-52%	金利・税金・償却前利益(EBITDA)	305	650	-53%
58	242	-76%	営業利益(EBIT)	90	448	-80%
124	109	14%	- ニュートリション	265	188	41%
3	29	-90%	- 医薬品	14	37	-62%
17	70	-76%	- 機能性素材	0	150	-100%
4	26	-85%	- ポリマー中間体	-26	66	
-36	43		- 基礎化学品および素材	-62	73	

-54	-35		- その他部門	-101	-66	
			-			
			<u>非継続事業</u>			
36	50	-28%	売上高	84	105	-20%
25	37	-32%	金利・税金・償却前利益 (EBITDA)	54	71	-24%
21	34	-38%	営業利益 (EBIT)	46	65	-29%
			-			
			<u>DSM 合計:</u>			
1,954	2,456	-20%	売上高	3,791	4,814	-21%
			-			
79	276	-71%	営業利益 (EBIT)	136	513	-73%
			-			
30	192	-84%	<u>特別項目前純利益</u>	55	354	-84%
			-			
-20	-		特別項目からの純利益	-32	-	
			-			
10	192	-95%	<u>純利益</u>	23	354	-94%
			-			
			<u>一普通株あたり純利益(ユーロ):</u>			
0.09	1.00	-91%	- 特別項目前の継続事業	0.11	1.81	-94%
0.05	1.15	-96%	- 特別項目を含む DSM 合計	0.12	2.10	-94%

本報告書では:

- 「営業利益」(償却前)は、特別項目前営業利益(償却前)とされています
- 「純利益」は、ロイヤル DSM N.V.の株主に帰属する純利益です
- 「継続事業」は、DSM Energie Holding B.V.および Stamicarbon B.V.を除く DSM 事業を指します

概観

DSM の全体事業のほぼ半分に相当する DSM エンジニアリング・プラスチックス(DSM Engineering Plastics)、DSM レジン(DSM Resins)、DSM 繊維中間体(DSM Fibre Intermediates)、DSM エラストマーズ(DSM Elastomers)、および DSM メラミン(DSM Melamine)に多大な影響を及ぼしている世界経済の全面的な低迷は、第 2 四半期にも続きました。しかしながら、2008 年 9 月からの直近の 2 四半期とは異なり、ほとんどの市場において川下産業の在庫調整がほぼ終了したことを示す強い兆しが見られます。このことは第 1 四半期と比べて需要が改善していることに現れており、これらの部門における前年比での需要の落ち込みがエンド市場の動向とより一致するものとなっています。

ニュートリション部門は継続した立ち直りを示し、景気低迷の影響が限定的であった、堅調な市場を反映しています。医薬品部門の実績は販売量の低迷により低調となりました。

機能性素材(Performance Materials)およびポリマー中間体(Polymer Intermediates)などから成るマテリアルサイエンス(Material Sciences)部門グループは、市場における需要の改善や引き続き集中的に行った効率化、

利益幅の増加が牽引して、再び収益の見込める位置に回復しました。しかし、DSM ダイニーマ (DSM Dyneema) は、主として工業用途の分野で需要の低迷に直面しました。

DSM が中国に戦略的に焦点を絞ったことは効果を上げています。中国の工業生産は比較的短い落ち込みの後、大幅に改善しています。ほぼ全ての部門、とりわけ DSM 繊維中間体が中国の需要の強固な回復の影響を受け、時には経済危機前の水準にまで回復しています。第 1 四半期と比較すると、中国での売り上げは 44% 増加しました。

DSM アグロ (DSM Agro) には引き続き影響がみられました。第 2 四半期には販売量の増加が見られましたが、価格の下落で同期は損失を計上することになりました。

DSM のキャッシュ・パフォーマンスは、外部環境の低迷にもかかわらず、3 四半期連続で極めて堅調となりました。運転資金管理、信用管理、費用効果、および設備投資に対する優先順位設定に重点的に取り組んだことが有効でした。2008 年の最終配当が同期に支払われたにもかかわらず、負債総額は再び減少しました。DSM の健全な財務状況は信用格付けに反映されました。2009 年 8 月 3 日、スタンダード・アンド・プアーズ社は A- (A マイナス) 評価をし、安定した見通しを維持しています。

DSM エネルギー (DSM Energy) および尿素技術のライセンス供与部門に関しては、ライフサイエンスおよびマテリアルサイエンス企業への転換を加速することを目標の一つに掲げている「Vision 2010」戦略促進の一環として、これらの事業を売却することで合意に達したため、これらの事業は今期末より売却のために保有される資産および非継続事業として報告されています。

売上高

単位: 百万ユーロ	第 2 四半期						
	2009	2008	差異	販売量	価格	為替相場	その他
ニュートリション	699	689	2%	-11%	5%	7%	1%
医薬品	177	237	-25%	-15%	-5%	2%	-7%
機能性素材	456	624	-27%	-23%	-8%	3%	1%
ポリマー中間体	215	326	-34%	-8%	-32%	6%	-
基礎化学品および素材	285	427	-33%	-2%	-32%	1%	-
その他部門	86	103					
合計、継続事業	1,918	2,406	-20%	-13%	-11%	4%	0%
非継続事業	36	50					
合計	1,954	2,456					

2009 年第 2 四半期の売上高は前年同期比で 20% 落ち込みましたが、前四半期比で 7% 改善しました (販売量+13%、価格-5%、為替相場-1%)。ニュートリション 2 部門を除く事業グループすべての売上水準は大幅

に昨年水準を下回りました。しかしニュートリション部門においては、価格の上昇と為替相場により、販売量の低迷は相殺されました。

昨年比では低調であるものの、産業需要が在庫調整の鈍化しつつあるエンド市場の需要に沿うように変動し、さらに中国市場が再び勢いを盛り返したことで、第1四半期に比べて明らかな回復が見られました。

営業利益

営業利益は前年の過去最高水準に比べて急落しましたが、マテリアルサイエンス部門の改善により、第1四半期との比較では明らかに改善しました。

ニュートリション部門は、マーケティング戦略と活力ある産業に支えられ、極めて堅調な業績を維持しました。景気低迷がニュートリション部門の業績に及ぼす影響は限定的なものです。

DSM ファーマシューティカル・プロダクツ (DSM Pharmaceutical Products) のカスタム製造部門低迷と、DSM アンチインフェクティブ (DSM Anti-Infectives) における市場停滞のため、医薬品部門の業績は好転しませんでした。

マテリアルサイエンス部門では、原油価格の急落が招いた棚卸資産評価減と川下産業の厳しい在庫調整がほとんどの市場で収束しつつあるように推測され、DSM レジンと DSM 繊維中間体はどちらも利益を見込める水準に回復していますが、DSM ダイニーマの収益は落ち込みました。また、部門全体では予想どおり、コスト削減効果の向上が表れました。

基礎化学品および素材 (Base Chemicals and Materials) 部門の DSM エラストマーズと DSM メラミンにおける業績の改善は、パフォーマンス・マテリアル部門における改善ほど顕著ではありませんでした。どちらの事業グループも依然として多大な損失を記録しました。価格が非常に低迷しているため、DSM アグロにおいても同様です。費用効果は全ての事業で向上しました。

ライフサイエンスおよびマテリアルサイエンス企業としての DSM の中核事業 (すなわち、基礎化学品および素材と非継続事業活動を除く) の営業利益は、第1四半期の 5,800 万ユーロから第2四半期には 9,400 万ユーロに改善し、62% 増となりました。

DSM Strategy Vision 2010 の進捗状況

2007 年 9 月に発表された DSM の戦略プログラム「Vision 2010 - Building on Strengths」は、より迅速な成長、より高い利益幅を実現し、DSM のポートフォリオから得られる利益の質を改善することに焦点を当てています。この戦略は、社会全体の動向に支えられて DSM が持続可能な成長を遂げられるライフサイエンスおよびマテリアルサイエンス企業へ変貌することを目指しています。

重要な要因である市場主導型の成長とイノベーション、新興経済国におけるプレゼンスの向上、および経営の卓越性は、依然として DSM の戦略の核となる部分です。

2009年第2四半期における中国の売上高は総額2億8,300万米ドルとなり、前年同期比で14%の減少となりました。しかし、第1四半期との比較では、44%増となりました。

今期、DSMはドイツのベルリンに本社を置くバイオプラクト社(Biopract GmbH)を買収することで合意したと発表しました。この買収はDSMにとり、年間15から20%の成長率を示している前途有望なバイオガス市場へDSMが参入する上で、布石を打つこととなります。今回の買収によって、2009年および2010年のDSMの総売上に大幅な増減はないと見込まれています。

DSM エンジニアリング・プラスチックと三菱化学株式会社(MCC)は、DSMがDSMのザンター(Xantar®)ポリカーボネート事業と交換にMCCのノバミッド®(Novamid®)ポリアミド事業を買収することに関する覚書に署名しました。DSM エンジニアリング・プラスチックはこれにより、世界でも有数のポリアミド・エンジニアリング・プラスチック・メーカーとしての地位をさらに確固なものとしします。

DSM エンジニアリング・プラスチックはまた、電気機器やその他の用途向け新しいポリマーであるスタニール(Stanyl®)フォーティー(ForTii™)の需要の拡大に伴い、市場開発を目的とした生産能力を拡張することを発表しました。

DSM ニュートリショナル・プロダクツ(DSM Nutritional Products)は長春経済技術開発区(Changchun Economic & Technology Development Zone)との投資契約に署名し、長春市に置かれることになる中国で4番目となるDSMの飼料予混合工場を設立することになりました。建設は既に5月に始まっており、投資総額は500万米ドルとなる予定です。

ライフサイエンスおよびマテリアルサイエンスへの転換が加速した結果、DSMは2007年9月、戦略の促進に適合しない多くの部門を分割・売却すると発表しました。

第2四半期終了以降、DSMは計画していた売却を進展させ、7月29日に、アラブ首長国連邦(UAE)の投資会社であるアブダビ・ナショナル・エナジー(TAQA Abu Dhabi National Energy Company PJSC)へDSM エナジー(DSM Energie Holding B.V.)を売却することに関する合意が発表されました。合意には、DSMが原油およびガス探査の参加権と、オランダのノルドガストランスポート(Noordgastransport B.V.)への40%の参加権が含まれています。また、同日、尿素技術のライセンス供与部門の子会社であるオランダのスタミカーボン(Stamicarbon B.V.)をイタリアのメイレ・テクニモン(Maire Tecnimont)に売却することに関する合意が発表されました。この売却は、規制当局の承認および通知を得ることを条件として、2009年第3四半期中および第4四半期までにそれぞれ完了する見込みです。

DSM エラストマーズ、DSM アグロ、およびDSM メラミンの売却プロセスは進行中です。DSMは現在の金融および経済状況を考慮して、慎重にこの売却に対応していますが、依然として、Vision2010の目標期間内での売却の完了を目指しています。

第2四半期の間、DSMは数々の新しいイノベーションを発表し、導入しました。詳細については www.dsm.com のイノベーションのページをご覧ください。

DSMについて – ライフサイエンス・マテリアルサイエンス企業として

ロイヤル DSM N.V. (Royal DSM N.V.) はライフサイエンスおよびマテリアルサイエンスの分野において革新的な製品とサービスをつくりだすことで、クオリティ・オブ・ライフ (QOL) の向上に貢献しています。DSM の製品とサービスはグローバルに広範なマーケット、アプリケーションに活用されており、より健やかで、持続が可能な豊かな生活をサポートします。DSM の製品は、人と動物の栄養と健康、パーソナルケア、医薬品、自動車、コーティング剤、塗料、電気電子、ライフプロテクションや住宅など広範な用途に使用されています。DSM グループの年間売上高は 93 億ユーロを超え、世界中に約 2 万 3,500 人の従業員を擁しています。同社はオランダに本社を、5 大陸に拠点を置いています。DSM はユーロネクスト・アムステルダムに上場しています。DSM の詳細については、英語サイト www.dsm.com または日本語サイト www.dsmjapan.com をご覧ください。

* 本リリースは 2009 年 8 月 4 日に DSM 社から発表された報道資料の意識です。

将来予測に基づく記述

本プレスリリースには、将来予測に基づく記述が含まれています。これらの記述は DSM 経営陣による現時点での期待、推定、予測、および現時点で当社が入手可能な情報に基づいています。これらの記述には、予測が困難な特定のリスクと不確実性が含まれることから、DSM はその予測の実現については保証しません。また、DSM は本プレスリリースに含まれる記述を更新する義務を負いません。

本件に関するお問い合わせ:

ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド株式会社
伊東 / 大坂
電話: 03-5427-7365 / 7372
e-mail: kito@webershandwick.com